

2022 年度 下期

2024年5月17日

みやぎ生協 福祉活動助成金 助成活動報告書

団体名	気仙沼・南三陸地区住民の健康を支える会	
代表者名	芳賀 礼子	
連絡先 TEL：090-4317-4749 FAX：無	E-mail sunwason52531@docomo.ne.jp	

1、助成事業報告

助成を受けた事業名	「まちの健康相談室（ぬくもり）」
事業の目的	震災発生時、退職看護職として単独で支援等を行った経験からネットワーク化の必要性を痛感し、離職・退職看護職で結成した。現職時代から行ってきた地域保健活動を継続しながら、自ら及び地域のエンパワメントを図り、被災地住民全体の健康度を向上させることを目指す。
事業の具体的内容	平成26年度から7年間、宮城県看護協会が受託した「まちの保健室」を当会員で実施してきた。これは震災後10年を区切りとして終了となったが、従事者間でボランティアとして継続していくことを話し合い、令和3年度から「みやぎ生協福祉活動助成金」により事業を運営している。 ○事業の具体的内容 ・事業実施場所：商業施設（イオン気仙沼店） ・実施回数・開催月：12月を除き毎月1回15日固定で開催（8月は20日） ・受付時間：午前10時から午後3時 ・対象者：乳幼児～高齢者（年齢制限なし） ・従事スタッフ：毎回看護職8名、毎回イオン薬剤師1名 理学療法士5回、ケアマネジャー2回、受付専門ボランティア（随時） ・健康相談内容：受付（個別相談票作成）→相談者自身

	による健康状況等の記載→健康チェック(血圧→体脂肪→ボディチェッカーによる血管年齢・ストレス度測定) →個別相談(看護職, 薬剤師, 理学療法士, ケアマネジャー) ・個別相談内容: 生活習慣病予防, 介護, 精神保健, 母子保健, 一般 (対象者によっては本人の了解の下, 市の担当課につなぎ, 継続支援を依頼) ・事業運営状況 ①17名の看護職の中にコーディネーター3名を配置 主な役割: 全体的な流れや内容の検討・調整, 器具機材の確認, 事業実施報告書等の作成 ②年1回(年度末)「全体会」を開催 メンバー全員への事業実績等報告, 次年度の予定・分担票の配付, 意見交換 他 ③市・イオン気仙沼店・コーディネーター間の事業打ち合わせ会 ④事業の周知 気仙沼市の協力により毎月市の広報に掲載, イオン気仙沼店の協力により正面玄関にポスターで案内 ⑥市事業への協力 「健康づくりフェスタ」で健康相談コーナー担当 ⑤「気仙沼・南三陸地区住民の健康を支える会」との関係 事業の実施状況等については隔月に1回程度, 支える会の役員会の中で情報交換を行っている。
活動の開始から完了までの流れ	○当日の流れ 9:00 市の市民健康管理センター(器材等保管)集合同ミーティング後会場に移動 9:30 会場設営, 机イス等の消毒等 10:00 ①受付(個票を準備) ②ボディチェッカーによる血管年齢・ストレス度測定 ③血圧測定・体脂肪測定 ④個別健康相談 15:00 受付終了 相談者帰った後会場の片付け・消毒 15:30 ミーティング後解散 ・当日のデータ及び相談内容等は, 面接担当者が個別の相談票に記載 ・当日担当したコーディネーターが集計し, 報告書を作成(市に報告)

活動の成果と教訓	1. 令和5年度の実績（詳細は別添資料のとおり） ①全 11 回中 10 回開催 （8 月中止 日程変更依頼あり調整できなかったため） 相談者 284 人，スタッフ数 77 人 ②1 回当たりの相談者は平均 28.4 人 ③30 代から 60 代までの相談者は延 69 名（24.3%） 70 代以上の相談者は延 215 人(75.7%) 相談の内容は、母子保健から生活習慣病、介護相談、孤独を癒すための話し相手と多種多様である。 ④定期的な相談者が多い 相談日が固定されていることや相談者に寄り添った丁寧な傾聴により、参加者から「心が楽になった。相談できてよかった。また来ます。」と継続相談に繋がっている。 ⑤最初は買い物ついでの相談をしていたが、まちの健康相談室を目的に来所している方が増えている。 ⑥商業施設では毎月 15 日に災害公営住宅へ買い物の便宜を図るため送迎バスを運行している。 「お客さまの声」に、送迎バス利用者から「滞在時間が短いため相談ができない。延長してほしい。」と投書があり、商業施設で健康相談の理解と配慮により 8 月から時間延長となった。利用者から「やっと相談できるようになった。」と喜ばれた。 ⑦多職種連携としてイオンの薬剤師（毎月）と理学療法士（年間 5 回）、ケアマネジャー（年間 3 回）による相談を実施している。 相談者は学んだ内容（体操など）を継続して実施し効果が見られ、継続相談に繋がってきている。 しかし、専門職の従事日が不定期なため相談できないこともあり、相談日や専門職ごとの相談内容を分かりやすく周知していきたい。 2. 市事業「健康づくりフェスタ」参加（令和5年6月4日） 血管年齢・ストレス度測定、健康相談担当 スタッフ 6 名 相談者 25 名
今後の展望など	①事業開催から 11 年経過したが、新規相談も多く、今後も商業施設とのタイアップによる市民の便宜に添った健康相談の継続実施 ②市の地域包括ケアシステムの中に位置づけられた事業として、その役割の一端を担いながら、さらに市の健康課題に沿った支援 ③健康ボランティア団体として組織の充実を図る ④リタイアした看護職それぞれの経験等を結集し、生きがいづくりを兼ねた地域貢献など更なる可能性を模索

2、助成金使途報告書

■ 収入の部

確保した資金内容	金額 (円)	備考
福祉活動助成金	140,000	
その他	187	自己資金
合計	140,187	

■ 支出の部

費目	内容	予算額(円)	実支出額
会議費	切手代@63×20枚 全体会お茶代	3,000	3,165
事務費	プリンターインク、FAX ロール紙 カラーコピー・コピー用紙 ファイル、封筒等事務用品 レターパック、郵便代	16000	16,540
旅費	相談会交通費@700×延83名 全体会交通費@700×18名 コーディネーター会議交通費 @700×延47名	104,000	103,600
事業費	個票用ファイル・インディックス、 消毒剤、マスク 血管年齢・血圧測定用 乾電池、カイロ、ペーパータオル 等	17,000	16,882
合計		140,000	140,187

*用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

3、送付必要書類

① 福祉活動助成金 助成活動報告書

プリントアウトしたものを1部郵送、データもメールでお送りください。

② 領収書のコピー (郵送)

③ 成果物 (活動の様子がわかる写真、または事業で作成したものを郵送)

*写真は郵送とメールで送ってください。

令和 5 年度

まちの健康相談室(めくもい)

開催日のお知らせ



相談日 **2月 15 日 (木曜日)**

3月 15 日 (金曜日)

時 間 午前**10**時～午後**3**時まで

場 所 イオン気仙沼店様 店内

健康相談のほかに、血圧測定・血管年齢
測定なども行います。

お気軽にお立ち寄りください。



《お知らせ》

- ・ 2月 15 日・3月 15 日午前 10 時～12 時は、
理学療法士さんの相談コーナーもあります。

本活動は「みやぎ生協活動助成金」より助成を受けています



まちの健康相談室

ぬくもり



送迎バスからまちの健康相談室へ

今日も来ましたよ♪



看護職だけでなく

PT・OT
ケアマネ
薬剤師と
協働

いろいろな
分野での相
談体制です



年 10 回のうち 7 枚のお礼のハガキ 感謝です♡